



秩父版CCRC構想の紹介②

秩父版CCRCとは？
中高年齢者をはじめ、多様な世代が、地域社会に溶け込みながら健康でアクティブな生活を送ることができるコミュニティづくり・まちづくりのこと。

秩父市では、誰もが活躍できるまちづくりのため、「生涯活躍のまちづくり」に取り組んでいます。市報1月号から「秩父市生涯活躍のまちづくり構想（秩父版CCRC構想）」についてお知らせしていますが、今月号では生涯活躍のまちづくりの取り組みによる効果などを紹介します。

①構想はどんな人を対象にしているのですか？
構想では、元気で活動的な中高年齢者（アクティブシニア）をはじめとして、若者や子育て世代なども含めた幅広い年代層を想定しています。

②どのような環境整備を行っているのですか？
居住・生活環境の整備として、既存の高齢者施設や空き家、空き店舗、学校、住宅などの既存施設も有効に活用します。これ以外にも民間事業者等による施設整備を促進していきます。

③移住者向けにはどんなサービスを提供していくのですか？
移住希望者に対して、移住相談

やお試し居住などのサービスを提供していきます。

事業運営については、市内事業者が中心となって関わっていただける体制づくりを進めます。

④中高年齢者の移住は市の負担になりませんか？

先進地の試算では、50歳～79歳の160人の移住による効果を50年間で計算したところ、医療介護費の負担増加が約7億円に対し、市民税・社会保険料収入増が約9億円となり、収入増加が約2億円多いという結果が出ています。また、経済波及効果も約22億円と試算されています。（出典：前橋版生涯活躍のまち（CCRC）構想）

また、民間事業者等が設置する「サービス付き高齢者向け住宅」への移住についても、介護保険の「住所地特例制度（「移住元」の区市町村が費用負担する仕組み）」が適用されるため、市の介護保険への負担はありません。

⑤「生涯活躍のまちづくり」で、どんな効果が期待できますか？

下表に示すように、「地域経済の活性化」「住民活動の活性化」「医療、福祉、保健制度の充実」「インフラ課題の解決」につながる効果が期待されます。

例えば、「地域経済の活性化」については、移住者の増加によって人口の増加が見込めることから、移住者を含めた消費の拡大、

さらには雇用をも生み出していけると考えています。

期待される効果	
地域経済の活性化	・人口増加 ・消費拡大 ・雇用創出 ・税収増加
住民活動の活性化	・移住者と地元住民の交流 ・地域包括ケアシステムの確立
医療、福祉、保健制度の充実	・健康増進 ・社会保障費削減 ・新たな施設建設
インフラ課題の解決	・空き家や公共施設など地域資源の活用

豊島区ワークショップ提案



ワークショップ参加者から提案書を受け取る久喜市長(右)と高野豊島区長(左)

豊島区住民などを対象として行われたワークショップ（昨年の市報10月号7ページ参照）において、秩父市長・豊島区

長に対して「秩父市・豊島区生涯活躍のまちづくり提案書」が提出されました。提案書では、姉妹都市である秩父市と豊島区が連携して「生涯活躍のまちづくり」を進めていくための提案をいただきました。

①「多世代共生」さまざまなニーズに合わせた住まい・コミュニティを形成

②秩父&豊島の「地域資源」を生かし継続的な交流の輪を広げる（例：豊島区と秩父市間で、職員相互派遣）

③秩父だからできる！誰もが活躍できる自己実現のまち

いただいた提案内容を生かして、「生涯活躍のまちづくり」の推進を加速させていただきます。

立教セカンドステージ大学 秩父サテライトセミナーを開催します

とき 3月4日(土) 午後1時～4時

ところ 歴史文化伝承館1階研修室

内容 ①上田 恵介教授「おしどり夫婦は本当か？鳥のつがい関係の秘密」
②加藤 睦教授「自然を読む和歌」

対象 一般住民（入場無料）

※お申し込み方法等、詳細はお問い合わせください

問 地域政策課 ☎22-2823